

Q 高い国保税の値下げを

高田 克彦 議員



A 答申がまとまり次第報告する

質問一 国保税の値下げは可能と思われるが、いかがか。

二 39歳以下の人は、均等割額において後期高齢者支援金等課税分と介護納付金課税分をゼロに。

三 国保税の取り立て方法は。

四 無保険者の存在をどう見るか。

五 一般会計から国保会計への法定外の繰り入れの方針は。

六 国保の都道府県単位化により

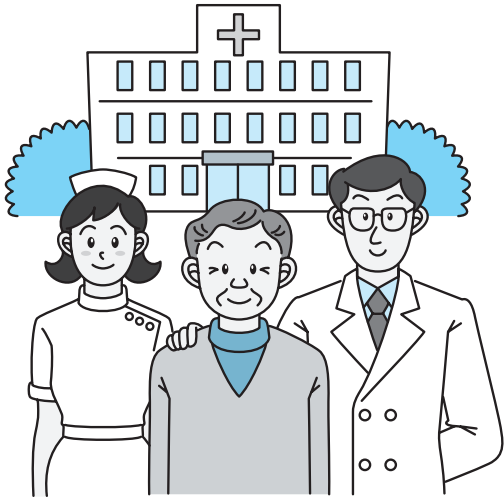
大幅に国保税が上がるが、見解は。
答弁一（市長） 賦課方式の変更を国保運営協議会へ諮問中なので、

答申がまとまり次第報告する。

二 加入者の年齢による特別な減免制度は、賦課の公平性の観点から設ける考えはない。

三 十分な担税力があるにもかかわらず、少額の納付や納付のない

人に対しては、換価性の高い債権



を中心に差し押さえを行っている。

四 生活習慣病等のリスクを考えると公的医療保険制度に加入すべきで、無保険者を減らすよう努める。

五 国保事業の安定した運営のため、適正な繰り入れに努める。

六 国保の広域化を視野に賦課限度額の引き上げや軽減割合を拡大してきた。持続可能な国保制度のため、広域化は必要である。

◎**その他の質問** 第6期介護保険事業計画作成を前にして

Q 市の交通安全対策について

出雲敏太郎 議員



A 人身事故が前年比7件減少

質問一 市内の交通事故の発生状況は。

二 交通事故対策は。

三 市内の交通渋滞の状況は。

四 自転車の安全利用の促進は。

五 ガードパイプ等の安全柵設置における基準は。

六 無線通信局と花みずき住宅の交差点の鉄パイプの設置について。

答弁一（市長） 平成24年中、死亡事故は発生していない。人身事故は前年比7件減少し、物件事故は前年比85件増加している。

二 鶴ヶ島市交通安全推進協議会による街頭指導や交通指導員による立哨活動などで啓発活動を行

っている。

三 交通渋滞の発生箇所は、時間、場所等によって異なる。交通量が増加する時間帯に交通渋滞が発生しやすい。

四 一般の方対象の自転車安全利用講習会や高齢者対象の自転車安全運転講習会を開催していく。

五 国土交通省の防護柵の設置基準、埼玉県の道路設計基準などを設置の基準としている。

六 歩行者の待避スペースを確保するとともに、車による歩行者巻き込み事故防止のために設置した。

◎**その他の質問** 武道の必修化における課題

